



あすぎ 市議会だより

vol.
80
2024.10

9月定例会議特集
・令和5年度決算審査
他
委員会視察概要

主な掲載内容

- ◆ 本会議で審議された議案等…… P 2～P 3
- ◆ 令和5年度決算審査…………… P 4～P 6
- ◆ 常任委員会審査報告…………… P 7～P 8
- ◆ 一般質問要旨…………… P 9～P 15
- ◆ 委員会視察報告…………… P 16

編集・発行：安来市議会広報広聴委員会
TEL：23-3125/FAX：23-3153

表紙写真：第9回安来市平和のつどいのあんどん

第102回安来市議会定例会8月緊急会議（令和6年8月2日）

8月緊急会議では、その他の議案1件の審議を行い、可決いたしました。また、報告1件を受けました。

■全会一致で可決、同意した議案

総…総務企画委員会、文…文教福祉委員会、地…地域振興委員会、予…予算決算委員会

提出者	番号	件名	付託
市長	議第93号	市道路線の認定について	



■報告事項

提出者	番号	件名	付託
市長	報第11号	議会の委任による専決処分の報告について	

第102回安来市議会定例会9月定例会議（令和6年9月2日～24日）

9月定例会議では、条例案3件、予算案8件、その他の議案10件、同意案3件、諮問案1件の合計25件の審議を行い、加えて、報告案6件を受けました。議第100号については、反対討論が行われましたが、全て可決いたしました。また、令和5年度決算に関わる認定案12件を審議し、認第1号、認第2号、認第3号、認第4号については反対討論が行われましたが、12件全て認定いたしました。

■全会一致で可決、同意等した議案

総…総務企画委員会、文…文教福祉委員会、地…地域振興委員会、予…予算決算委員会

提出者	番号	件名	付託
市長	議第94号	安来市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	総
	議第95号	安来市手数料条例の一部を改正する条例制定について	地
	議第96号	安来市空家等の適正管理に関する条例制定について	地
	議第97号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	総
	議第98号	市道路線の認定について	地
	議第99号	市道路線の変更について	地
	議第101号	米子市と安来市との汚水処理事務の委託に関する規約を変更する協議について	地
	議第102号	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について	地
	議第103号	令和6年度安来市一般会計補正予算（第4号）	予
	議第104号	令和6年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予
	議第105号	令和6年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	予
議第106号	令和6年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	予	
議第107号	令和6年度安来市水道事業会計補正予算（第1号）	予	
議第108号	令和6年度安来市下水道事業会計補正予算（第1号）	予	
議第109号	令和6年度安来市病院事業会計補正予算（第1号）	予	
議第110号	財産の取得の追認について		

提出者	番号	件名	付託
市長	議第111号	工事請負契約の締結について	
	議第112号	工事請負契約の締結について	
	議第113号	工事請負契約の締結について	
	議第114号	令和6年度安来市一般会計補正予算(第5号)	
	認第5号	令和5年度安来市電気事業特別会計決算の認定について	予
	認第6号	令和5年度安来市生活排水処理事業特別会計決算の認定について	予
	認第7号	令和5年度母里財産区特別会計決算の認定について	予
	認第8号	令和5年度井尻財産区特別会計決算の認定について	予
	認第9号	令和5年度赤屋財産区特別会計決算の認定について	予
	認第10号	令和5年度安来市水道事業会計決算の認定について	予
	認第11号	令和5年度安来市下水道事業会計決算の認定について	予
	認第12号	令和5年度安来市病院事業会計決算の認定について	予
	同第4号	母里財産区管理会財産区管理委員の選任について	
	同第5号	安来市公平委員会委員の選任について	
同第6号	安来市教育委員会委員の任命について		
諮第2号	人権擁護委員候補者の推薦について		

■賛否の分かれた議案

賛成…○、反対…×、欠席…欠、除斥…斥、退席…退、棄権…棄
 予…予算決算委員会、総…総務企画委員会、地…地域振興委員会、文…文教福祉委員会

提出者	番号	件名	付託	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
				議決結果	内田卓実	湯浅正志	三原哲郎	清水保生	福井加代子	岡本早智雄	原瀬清正	飯橋由久	岩崎勉	三島静夫	向田聡	澤田秀夫	佐々木厚子	作野幸憲	石倉刻夷	足立喜信	葉田茂美	永田巳好
市長	議第100号	島根県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	文	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	認第1号	令和5年度安来市一般会計決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	認第2号	令和5年度安来市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	認第3号	令和5年度安来市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	認第4号	令和5年度安来市介護保険事業特別会計決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	

※議員定数18人 議長は採決に加わらない

■報告事項

提出者	番号	件名
市長	報第12号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
	報第13号	安来市土地開発公社の経営状況説明書について
	報第14号	公益財団法人加納美術振興財団の経営状況説明書について
	報第15号	一般財団法人夢ランドしらさぎ振興事業団の経営状況説明書について
	報第16号	一般財団法人安来ふるさと公社の経営状況説明書について
	報第17号	有限会社やすぎ千軒の経営状況説明書について



全員協議会（令和6年9月3日）審議結果

全員協議会では、「小学校教科書改訂に伴う教師用指導書の購入について」の一件について、審議が行われました。数件の質問がありましたが、全会一致で了承されました。

■全会一致で了承した案件

提出者	番号	件名
市長		小学校教科書改訂に伴う教師用指導書の購入について



9月定例会議 令和5年度決算審査

9月定例会議に上程された令和5年度一般会計、特別会計および企業会計の歳入歳出決算（合計12議案）は予算決算委員会に付託され、さらに3つの分科会で慎重に審査を行いました。議決結果は12件とも認定です。定例会議最終日の本会議における予算決算委員長報告の要旨を掲載します。

予算決算委員会審査

前期全体会（9月3日）

令和5年度決算審査に際し、代表監査委員の意見をお聞きし、委員からの質疑を求めましたが、ありませんでした。次に、一般会計総括説明等を受け、委員からは数件の確認がありました。決算審査に影響する内容ではありませんでした。



地域振興分科会（9月9日）

県営農業農村整備事業

質問 資料に事業ごとの進捗率があるが、工事については順調なのか伺う。

答弁 進捗率は、あくまで総事業費に対して投入された予算から算出している。工期については一概には言えないが、島根県が地元の要望を聞き取り、必要に応じて計画変更しながら進めている。

安来市水道事業

質問 事業費に関する事項について、前年度に比べて修繕費と薬品費が上がっている理由を伺う。

答弁 修繕費は山佐浄水場の緩速ろ過池3池（ち）の更生を行ったため

に上昇している。薬品費は物価高騰により単価が上がったためである。

※緩速ろ過とは？

ゆっくりとした速度でろ過池の砂層に水を通し、生物ろ過膜（砂層の表層部で微生物を繁殖させたもの）の浄化作用で水をきれいにする方法。



文教福祉分科会（9月11日）

過誤納還付金

質問 昨年度と比較し、件数が大きく増加している理由を伺う。

答弁 昨年度と比較し個人住民税の件数が大きく増加している。新型コ

ロナ感染症が収束し、過年分の申告をまとめてされ、還付が発生したことによる影響である。

学校プール代替事業

質問 市民プールは屋内施設なので冬場も利用可能と思うが、利用実態を伺う。

答弁 冬場は髪が乾かないまま学校に戻ると風邪をひく可能性やインフルエンザ等の感染症の流行が想定されるため、6月から9月までのところで組んでいる。

質問 年何回ぐらい利用されているのか伺う。

答弁 各学校により多少出かける回数は異なるが、学習指導要領に概ね年間10時間とされているので、達成できるようにしている。

総務企画分科会（9月13日）

やすぎ刃物まつり事業

質問 市からの委託料以外に事業に要した経費はあるのか伺う。

答弁 実行委員会の決算によると、収入は、市からの委託料のほか、寄付金、市内企業からの協賛金及び出

展者からの出展料など934万円余。支出は、出演者への謝礼、遠方から参加される刃物業者への旅費の補助及び各種手数料など907万円余となっており、おおむね900万円の事業規模である。

質問 開催時期を5月から10月、開催場所も和鋼博物館周辺と変更したが、来場者の方や関係者の反応を伺う。

答弁 アンケートの結果から、開催時期については、『よかった』40%、『悪かった』20%。『どちらとも言えない』が40%であった。

個別の意見としては、『運動会など日程が重なるため、ゴールデンウィークの方がよい』という意見があった一方、『ゴールデンウィークの時期に比べて、10月の方が車での移動が楽だった』という意見もあり、10月開催に肯定的な意見が多かった。開催場所については、『よかった』72%、『悪かった』6%。『どちらとも言えない』が22%であった。

個別の意見としては、『会場が集約されていてよかった。見やすかった』『鉄のことを知れる和鋼博物館

の開催がよかった』という意見があり、会場変更についても好意的な意見が多くあったと考える。

4年ぶりに開催した昨年の祭りから、刃物の原材料のたたらについて、もう一度スポットを当てること、出雲国たたら風土記のゲートウェイとなる和鋼博物館を情報発信拠点にすること、この2つのコンセプトを追加して実施している。このコンセプトに照らし合わせても開催時期と会場の変更については、おおむね、多くの方から賛同が得られたのではないかと考えている。



基金費

質問 先日の代表監査委員の意見の中に、特定目的基金のうち、使用されていないものについて、今後整理することも検討してほしいとあったが、執行部の考えを伺う。

答弁 当面の課題として、公共施設のマネジメントの推進と、地域振興として様々なハード事業を進める中で、ある程度財源を確保しなければならぬと認識している。そのため、当初の目的を達成した基金については、ある程度整理をして、集約するような方向性が必要と考える。例えば公園緑地整備基金は、ふれあい公園の整備のための基金であるが、すでに事業は完了しているため、公園緑地整備基金として個別に管理しておく必要はないと考えている。一方、庁舎等整備基金や義務教育施設整備基金については、今後の需要に対して残高が若干頼りない状況と考えている。今後のソフト事業、ハード事業に対応できるように基金の整理統合をしていきたいと考えている。

後期全体会（9月19日）

採決

認第5号、認第6号、認第7号、認第8号、認第9号、認第10号、認第11号、認第12号の8件は全会一致で認定すべきものと決しました。

認第1号、認第2号、認第3号、認第4号の4件は賛成多数で認定すべきものと決しました。

※議案の詳細は2、3ページをご覧ください。



指摘事項並びに審査意見（予算決算委員会）

1. 財政運営

今後、税収の減少が見込まれることから、更に財政健全化は着実に改善を図らなければならないが、市民サービスの維持・向上と新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う市民の活力を生み出すための市民ニーズに合致した事業の展開、そして将来に向けた人口減少対策や少子高齢化対策への有効な事業も推進し、持続可能な財政基盤の構築に努めていただきたい。

2. 市有財産の管理

公共施設等総合管理計画の最終年度となる令和28年度の削減目標面積25%に対する取組みが推進されており、令和3年度に設置された「安来市公共施設活用推進会議」による議論を中心として、老朽化対策や効率的な運営方法の検討、民間事業者との連携など、より一層、計画目標の達成に向けて施設総量の削減、適正化を推進していきたい。

3. 収入未済額

健全な財政運営には、自主財源である税収の確保と、税負担の公平性の確保が不可欠である。物価高騰など市民を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、収納率の向上と収入未済額の減額に向けて推進され、引き続き市税、国保税の滞納が減少するよう努められたい。

4. 病院事業について

救急搬送応需率の向上と在宅医療の推進に加え、光熱費の抑制など物価高騰にも対応しながら3年連続して経常利益が黒字となったことは、経営の健全化に努められた結果であり評価できる。しかし、医師・医療従事者の確保や施設・設備の老朽化などの課題もあることから、病院改革プランに基づき病院経営基盤の強化に一層努められたい。また、本市の医療提供体制の速やかな確立に向けて努められたい。

令和6年度島根県市議会議長会

議員研修会14名が参加

日にち…令和6年8月1日（木）

場 所…ビッグハート出雲

白のホール（島根県出雲市）

講師…医療法人社団悠翔会

理事長・診療部長

佐々木 淳 氏

◎演題

『超高齢社会に求められる

地域医療のかたち』

内容…地域医療の確保は大きな課題の一つとなっており、島根県では高齢化率が全国平均より高い状態にあります。そうした中で講師より、人は加齢し、寝たきりにも認知症にも大抵の人がなる。健康寿命が延伸すれば不健康寿命も伴って伸びていく。終末期を迎え、人生を長くするため節制をすることが良いのか、残る人生をより楽しく過ごすのが良いのか、人にとって何が1番良いのかを問われる講義であり、考えさせられる内容でした。



常任委員会審査報告(要旨)

予算決算委員会(9月3日)

付託議案7件(補正予算関係)

(議第103号)

令和6年度安来市一般会計補正予算(第4号)

補正額1億4千5百万円

電気需給契約最適化事業

事業費180万円

【概要】

市有施設における高圧電力の電力需給契約について、電気料金の妥当性や環境配慮への取り組みなど様々な視点から、電力会社及び料金メニューの比較検討を行い、電力調達方式を最適化するもの。

【主な審査内容】

問 一般財源のみの事業費180万円での程度の効果を見込んでいるのか伺う。

答 市有施設における高圧電力の需給契約について、様々な観点から、電力会社及び料金メニューの比較検討を行う。詳細は調査してみないとわからないが、電気料金の3%から年間約2千万円の削減効果を見込んでいる。



保育人材確保対策事業

事業費180万円

【概要】

多様化する保育士の業務負担を軽減し、市内私立保育施設の保育体制の強化、保育士の就業継続と離職防止を図ることを目的に、清掃業務や遊具の消毒、給食の配膳、寝具の用意、片付けといった保育に係る周辺業務を行う者(保育支援者)を配置する経費の一部を補助するもの。

【主な審査内容】

問 補助対象となる保育支援者の雇用について、資格や年齢制限はあるのか。また、採用、勤務時間や業務内容の決定は誰がするのか伺う。

答 保育現場で片付けや寝具の準備などをする保育支援者の雇用について、資格は不要である。採用は、今回対象となる私立保育施設で決定し、採用における年齢制限は把握していないが、終日勤務されており、業務

内容については、実績報告などにより把握することになる。

問 今回の補正の背景として、すでに対象となる方がいるのか伺う。

答 今回対象の2つの私立保育施設のうち、1つの施設では、4月からすでに1名雇用されており、もう1つの施設では、10月から1名雇用予定である。4月から雇用されている1名については、補正予算成立の後遡って補助することになる。

高潮対策事業

事業費750万円

【概要】

中海沿岸部の市道における高潮による冠水被害の防止等を目的に、各所で機動的に稼働できる可搬式排水ポンプを購入し、速やかな排水により冠水を防ぐとともに冠水被害が発生した際の早期の復旧を図るもの。なお、排水ポンプを構成する装置の供給に期間を要し、年度内完了が困難なことから繰越明許費を設定するもの。

【主な審査内容】

問 国土交通省が設置した樋門を閉じることにより生じる対策であれば、国土交通省の責任において排水ポンプを購入すべきと思うが、考えを伺う。

答 国土交通省が所有する排水ポンプは、市の災害対策本部の設置により、島根県を通じて、空きがあれば、市の負担により設置できる仕組みになっている。浸水対策として、この

排水ポンプを待機してもらうことも可能だが、使用の有無にかかわらず市の負担が生じることになる。緊急時や予期せぬ場合でも配備できるように排水ポンプを購入するものである。

※決算審査については、4ページから6ページをご覧ください。

地域振興委員会(9月9日)

付託議案6件

(議第95号)

安来市手数料条例の一部を改正する条例制定について

【概要】

根拠法令である建築基準法等の改正により、所要の改正を行うもの。

【主な審査内容】

問 この改正によって仕組みがどのように変わるのか伺う。

答 大規模修繕を行うためには建築確認申請を提出する必要があるが、これまで接道義務や道路内建築制限における既存不適格建築物に対しては確認申請が出せなかった。この改正により、当該既存不適格建築物であっても、特定行政庁が交通上、安全上、防火上及び衛生上支障がないかを審査し、認定されれば大規模修繕等が可能になる。



〈議第96号〉

安来市空家等の適正管理に 関する条例制定について

【概要】

適切な管理が行われていない空家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことがないよう、法に定めのない措置等の必要な事項（所有者等の責務、緊急安全措置ほか）を定めるため、条例制定を行うもの。

【主な審査内容】

問 勧告とあるが、該当敷地の固定資産税の住宅用地特例は解除することか伺う。

答 特定空家等に対する措置は指導勧告、命令という順で進んでいくが、勧告まで至った建物の敷地に対する固定資産税の住宅用地特例は解除される。

問 7条の1項には緊急安全措置に要した費用は『措置の権原を有する者に請求する』とあるが、建物の問題を土地の所有者に対して請求することになるのかを伺う。

答 土地と建物の所有者が異なっている場合、土地の所有者には建物を撤去する権原や義務はなく、『措置の権原を有するもの』にはあたらないため、緊急安全措置をした場合でも土地の所有者は請求の対象にはならない。

文教福祉委員会（9月11日）

付託議案1件

〈議第100号〉

島根県後期高齢者医療広域 連合規約の変更に関する協 議について

【概要】

マイナンバー法の一部を改正する法律により、被保険者証が廃止されるため、広域連合規約を変更するもの。

【主な審査内容】

問 マイナ保険証が定着しているとは言えない。国でもいろいろな議論がされている中で、何故、このタイミングで規約を変更する必要があるのか伺う。

答 広域連合の規約を変更する手続に要する時間を勘案し、12月2日から被保険者証の新規発行が行われないうことに対応するため、今議会に議案提出を行った。

総務企画委員会（9月13日、17日）

付託議案2件



〈議第94号〉

安来市行政手続における特 定の個人を識別するための 番号の利用等に関する法律 に基づく個人番号の利用に 関する条例の一部を改正す る条例制定について

【概要】

マイナンバー法の一部を改正する法律により、引用している条文が繰り下げられたため改正するもの。また、新たに個人番号による情報連携を開始する独自利用事務等を追加するための改正を行うもの。

【主な審査内容】

問 今回の改正により、現在の事務負担は軽減されるのか伺う。

答 マイナンバーの情報を使い、各種情報が入手できるようにするため事務の軽減に繋がると考える。また、申請される方についても、様々な証明を添付する必要がないため、こちらの負担軽減も大きいと考える。

（議第97号） 辺地に係る公共的施設の総 合整備計画の策定について

【概要】

市道路線、除雪機械及び旧簡易水道施設等の整備を進めるため、当該事業を実施する辺地の総合整備計画を変更するもの。

【主な審査内容】

問 辺地対策事業債の事業メニューにはどのようなものがあるのか伺う。

答 観光やレクリエーションに関する施設、地場産業の振興に資する施設といった『産業振興施設』、市町村道や農林道、除雪機器などが対象の『交通通信施設』、消防施設、保育所やこども園、診療施設そして簡易水道施設といった『厚生施設』、小中学校、公民館や集会所といった『教育文化施設』の4つの主な区分がある。



9月17日に上の台緑の村トライアル事業について、現地視察を行いました。

12名が思いを問う

9月定例会議 一般質問要旨

一般質問動画
絶賛配信中!



QRコードを読み取ると
議員の一般質問の様子を
動画で見ることができます。

安来市議会では、市民にもっとよく見え、より開かれた分かりやすい議会の推進をめざして、「山陰ケーブルビジョンやすぎどじょつテレビ」による一般質問等の議会中継番組をYouTube（ユーチューブ）で生配信および録画配信しています。議会中継の視聴についての詳細は安来市議会ホームページをご覧ください。

消防・防災体制について



市民クラブ
岡本 早智雄

質問

懸案となっていた様々な事業も進められていられる中、消防・防災体制に合った形でのまちづくりや支援を考えなければなりません。また、残念ながら今後の人口減少が劇的に改善することが難しい状況が続くことが予測されるため、消防・防災体制の強化や効率化も計画的に進めていくべきと考えているが、市長に今後についての考えを伺う。

答弁

当然、市民に対しての安全・安心な防災対策は重要な任務であり、消火活動、救急活動、そしてまた救助活動などの事案に対して迅速な対応をすることが求められている。今年度から、情報共有アプリを導入して、災害現場等の状況を複数の機関へ向けて同時に画像や動画を送ることによって正確、迅速に情報を共有

化するということをしている。これにより、その後の対応についての迅速な判断材料となっており、災害対応の強化につながっている。

消防施設については、広瀬・伯太両分署は、ともに築50年が経過しており、老朽化が進んでいることは承知をしている。今年度は、比田地域の防災拠点整備を行っている。老朽化している広瀬・伯太分署については、必ず検討していかねばならないので、順次、整備しようと思っている。また、車両や消防資機材についても、老朽化したものから計画的に更新をしている。

今、自然災害は激甚化をしており、これからの安来市は、そういった状況の中で、状況の変化に応じた消防・防災対策を取り組んでいかねばならない。この問題には終わりはないので、さらに進化する状況に合わせて体制を整えたいと思っている。





誠和クラブ
石倉 刻夷

中山間地域等直接支払制度 の次期対策は

質問 第3期、第4期、第5期の実績と事務負担の軽減等次期対策の検討状況について。

答弁 旧市町毎の実績は、次のとおり。

- 第3期（平成22年～平成26年）
旧広瀬町58協定、605 ha、1億252万円
旧伯太町42協定、281 ha、3千863万円
旧安来市2協定、13 ha、216万円
- 第4期（平成27年～令和元年）
旧広瀬町47協定、593 ha、1億1千314万円
旧伯太町33協定、273 ha、4千111万円
旧安来市2協定、11 ha、171万円
- 第5期（令和2年～令和6年）
旧広瀬町41協定、588 ha、1億2千318万円
旧伯太町34協定、244 ha、3千963万円
旧安来市3協定、35 ha、472万円

面積及び協定数は減少傾向にあるが、交付額は加算制度や単備改定に

より増加している。事務負担の軽減は、農林水産省でも課題として検討されている。市長会等を通じ、一層効果的な制度設計を行うよう要望し、情報収集に努め、適宜周知をしたいと考えている。

質問 加納莞菴の平和精神映画化について計画されてないか伺う。

答弁 平和への意識を市民が持ち続けるため、第9回となる「平和の集い」が布部で開催される。安来市にゆかりがある加納莞菴については、現段階で映画化することを検討していないが、今後も恒久平和に尽力された功績を市としてPRしていきたいと考えている。

質問 今後の本市の建築物の改修や新設においてZEB化を検討されるのか伺う。

答弁 ZEBとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル の略称であり、安来市地域温暖化対策実行計画を策定している。大規模改修時及び新設する際に、ZEBまたはZEBの評価基準と同等の省エネ性能の確保を可能な限り目指していく。

NPO等の質問事項

- 地域計画の推進について
- 米価安定と畜産振興対策について
- 介護人材確保支援について



市民クラブ
澤田 秀夫

再生可能エネルギーの 対応について

質問 安来市再生可能エネルギー

地産地消ビジョンの推進により、再生可能エネルギー施設の設置が進む一方で、市内に太陽光発電設備が色々な場所に無秩序に多数設置されるのではないかと危惧をしている。個人所有の太陽光発電施設を含めて何か規制がかかる法律があるのか伺う。

答弁 再生可能エネルギーに関する法やガイドラインはあるが、いずれも設備設置を規制するものではない。また、再生可能エネルギー電気

の利用の促進に関する特別措置法が今年4月に改正され、50 kW以上の太陽光発電設備については、事業計画地の自治体に事前相談のうえ周辺住民への説明会の開催が求められるようになったが、固定価格買取制度の認定要件として定められたものであり、設備設置に対して規制がかかる

ものではない。

質問 島根県内において、風力発電施設や太陽光発電施設などの再生可能エネルギー施設の建設に対して、条例で規制をかけている自治体があるのか、また、検討中の自治体も含めて伺う。

答弁 県内で条例制定された自治体は、吉賀町が「太陽光発電事業と地域との調和に関する条例」を今年3月に制定しており、10 kW以上の発電事業について、町に対して事前協議の実施、事業区域の土地所有者等から得た同意書の提出、事業禁止区域などが定められている。また、松江市が再生可能エネルギーに関する条例制定を目指すとのことであり、その方向性などはこれから検討していくとのことである。

質問 事業用および個人用を含めて、再生可能エネルギー施設の無秩序な建設や設置に対して、どのような歯止めをかけていくのか現段階での考えを伺う。

答弁 市内での再生可能エネルギー施設の設置計画について注視するとともに、地域と共生した再生設備の普及が図られるよう、令和7年度中に制度化したい。



誠和クラブ
清水 保生

市立病院オンライン診療

について

質問 通院手段に困っておられる高齢者がどんどん増えていく状況にあるなかで、ケースによっては、LINEアプリのビデオ通話を活用する等、少しでも通院患者の負担軽減・利便性向上に繋がる方策もあると思うが、考えを伺う。

答弁 市立病院では厚生労働省の「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に基づき、適切なオンライン診療を実施することで、医療の質の向上を図っていききたいと考えている。

有害鳥獣対策について

質問 岡山県吉備中央町では、親機6機、子機50機を使った農監視装置システムを導入されている。子機は猟友会会員に貸与され、イノシシなどが農に掛かった場合には、親機を通じて会員のスマートフォンに連

絡が入る仕組みとなっている。

本市においても、猟友会会員の負担軽減や作業の効率化、職員の事務負担軽減にも繋がるようなDXを駆使した効率的な有害鳥獣対策の導入について検討すべきと思うが、考えを伺う。

答弁 これまでも箱監視装置のアニマルセンサーの導入を行うなどしてきたが、デジタル化によって一層の負担軽減が可能と考えている。実施者となる猟友会の意向を踏まえ引き続き検討していききたい。

林業振興について

質問 今年度策定される森林ビジョンは、これから本市が向かう林業振興の指針であり、これから林業に従事される人にとって夢や希望の持てるものであって欲しいと思っっているが、考えを伺う。

答弁 森林ビジョンでは、安来市における森林のあり方を示すとともに、今後の林業振興と木材産業振興を推進していくための、「基本的な理念と指針」としたいと考えている。概ね2050年を見据えた長期的なビジョンとして、安来市における森林・林業・木材産業のポテンシャルが十分に発揮された理想的な状態を目指す将来像を描くとともに、実効性ある施策の企画立案の基礎としていきたい。



公明党
佐々木 厚子

災害から生命を守る

対策について

質問 線状降水帯などの異常気象により近年頻発する災害に対応するため、各自自治体において「気象防災アドバイザー」の活用が広がってきている。「気象防災アドバイザー」とは、自然災害の対応に不可欠な「防災」と「気象」の両方の知識に精通した専門人材である。今後、安来市においても必要と思うが、採用される考えはないか伺う。

答弁 本市では松江地方気象台と随時情報提供や、相談ができる環境が整っているため、意義は認めつつも、現時点では採用は考えていない。

質問 防災・危機管理部局に女性職員の配置が必要と思うが、今後配置する考えはないか伺う。

答弁 防災は安全に関わる重要な分野であり、性別のみならず多様な視点や知識が求められることは

承知している。多様性に対応できるような職員配置に心がけていく。

学校図書館について

質問 安来市は、学校図書館司書を「学びのサポーター」との名称で司書の仕事のみならず、子どもたちの学びの支援もされているが、その配置状況と具体的な仕事内容を伺う。

答弁 安来市は全校に1名ずつ配置している。具体的には、「本を介した居場所づくりや人間関係づくり」「ICT機器を活用した学習支援」などの中から学校の実情に応じた役割を担っている。

質問 国は新しい本の購入費に20%、破損したり更新が必要な本の購入には80%の予算措置をしている。子どもが読書に興味を持つためには、図書を更新が適切に行われることが大切と考えるが、図書室には古く読みづらい本や、情報更新されていない本が数多く残っていると聞いた状況はないか伺う。

答弁 各学校では廃棄処分となる図書をリストアップし、廃棄処分をしている。新しい図書の購入には、児童生徒の興味関心や授業で必要な本を校内でアンケートを取ったりして選書をしている。

公共上下水道

水質について PFAS問題



政進クラブ
三原 哲郎

質問 PFAS（ペーファス）は近年注目されている有機フッ素化合物で自然界では分解されにくく、健康に悪影響を与える可能性が指摘されたことで注目されてきている。飲料水になる原水にも影響があるのかと思うが、水質検査や今後の対策はされているのか伺う。

答弁 令和5年度から令和6年度にかけてPFASの水質検査を実施したところ、全ての浄水場において検出限界値未満の濃度であるため検出されず、問題がないことを確認している。島根県企業局より受水している今津水源地においても同様の検査結果が出ている。

下水道の接続率と今後の対応

質問 下水道法によれば、3年以内に接続工事を実施する必要があり、「汲み取りトイレを3年以内に水洗にしない場合は30万円の罰金」としている。処理区域となつて3年経過した未接続家庭に対して今後の対応

を伺う。

答弁 下水道法の規定に従わず下水道に接続していないご家庭等に対して、同法に基づく命令や罰則を適用した事例はない。対象区域への説明会の開催、市報掲載、行政告知発送のほか、接続依頼文書を送付している。

高齢者・介護保険事業

介護事業者の人材確保について

質問 介護業界は、将来的に介護事業に関わる方の減少が非常に危惧される業界である。今後の介護人材確保や定着に向けてどのような対策をされているのか伺う。

答弁 介護人材確保・定着に向け、介護の仕事の魅力発信、介護人材マッチング支援、介護人材キャリアアップ支援、介護人材定着支援、働きやすい環境づくり支援の5つの柱ごとに事業を行っている。

水道の質問事項

- 水道管の耐震化について
- 水道施設の障害発生時における対応について
- 石綿セメント管及び鉛管の残存状況について
- 今後の上下水道料金改定について
- 2024年問題と介護保険事業について
- 認知症支援体制について

遊休農地、荒廃農地について



政進クラブ
内田 卓実

質問 安来市での営農型太陽光発電について伺う。

答弁 営農型太陽光発電は、農地の上部空間に太陽光の発電設備を設置し、下部農地で営農を継続しながら発電を行う事業で、支柱の部分については、農地一時転用の許可等が必要となる。荒廃農地の発生防止や解消、農業者の所得向上等に寄与するものである一方、近年においては発電に重きを置き、営農がおろそかにされる事例が見られている。そのため国において、令和6年4月1日付で、下部農地での営農が適切に継続されるためのガイドラインを制定し、許可基準等が明確に示された。営農型太陽光発電のための農地一時転用許可基準の主なものでは、下部の農地における営農の適切な継続が確実と認められることが挙げられ、具体的には、下部の農地において栽

培する農作物の単収が同じ年産の当該申請に係る農地が所在する市町村の区域内の平均的な単収と比較して概ね2割以上減少しないことなどがあり、この他にも多くの許可基準が設けられている。現在、安来市においては4か所での設置となっている。

有害鳥獣対策について

質問 有害鳥獣のジビエ利用について現状と考え方を伺う。

答弁 捕獲した有害鳥獣のジビエ利用は、国も推進しているが、整備と運営には多額の資金が必要となるほか、安定的な食肉供給のための体制整備や販売先の確保などの経営ノウハウも必要となるため、新たな施設整備のハードルは高いと考えている。新たに市内でジビエ処理加工施設を整備するよりも、近隣にある既存の施設との連携がスムーズに行えるよう、輸送や一時保管などに係る何らかの支援策を模索するほうがより現実的ではないかと考える。安来市ではどのような施策が有効であるか引き続き検討していく。

※ジビエとは、狩猟で得た野生鳥獣の食肉のこと。



日本共産党
向田 聡

マイナ保険証について

質問 12月2日で保険証が廃止されるため、医療機関や薬局でマイナ保険証を作るように言われたという声を聞く。マイナ保険証がなければ医療が受けられないという誤解や不安を与えるような対応がされているのではないか。市民からの問い合わせへの対応や周知等は十分にできているのか伺う。

答弁 問合せについては、マイナンバーカードの取得及び保険証の紐づけは任意であることを説明している。また、保険証廃止後の取扱いについては、今後、広報紙掲載やホームページなどを通じて周知を行う。マイナ保険証を強制すること自体がおかしいのではないかと。持たない人、あるいは持てない人が不利にならないよう、最低でも、自分が使いたい方で使えるよう、今の健康保険証も残しておくべきではないのか伺う。

答弁 マイナンバーカードの取得は任意である。医療機関へは、マイナ保険証か保険証どちらかで受診することとなっている。12月2日以降、新規の健康保険証の発行は終了するが、マイナ保険証を保有しない方については、資格確認書を交付することとで、引き続き適切な保険診療の提供に努めていく。

幼児への早期支援について

質問 年中・年長前半児の発達診断とその後フォロー体制の重要性が近年特に言われている。早期の支援によって就学後の困難さを低減していく上でも、5歳児健診を行っていくべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 5歳児健診については、発達の評価が診察できる医師とスタッフの確保が難しく、すぐに実施できる状況にはないが、松江保健所との連絡会を通して、国の動向についての情報共有や実施に向けての課題の洗い出しや意見交換等を行っており、効果的な5歳児健診の在り方について、関係部署や機関と連携を図りながら検討していく。

その他の質問事項

- 猛暑から市民を守る取組み
- 改正地方自治法について



市民クラブ
原瀬 清正

公共施設の 冷暖房設備について

質問 公立小・中学校の冷暖房設備設置率の全国平均は11.9%、島根県は今年の5月現在で1.4%とのこと。特に熱中症対策として冷房設備の設置、導入は早急に進めるべきと考えるが、市内小・中学校の体育館とスポーツ施設として位置づけされている体育館の各棟数、冷暖房が完備されている体育館の棟数を伺う。

答弁 小学校の体育館は17棟、中学校の体育館は5棟あり、計22棟である。また、メインアリーナ部分に空調設備を有する施設はない。スポーツ施設としては、安来市民体育館、広瀬中央公園総合体育館、伯太体育館、安来南体育館、広瀬体育館の5施設であり、体育館アリーナの冷暖房完備は安来市民体育館1施設である。

は体育授業やスポーツ教室、部活動などをしており、体育館の一般利用者も競技練習や稽古、各種大会などを行われている。2030年には島根かみあり国スポも開催されるので、市内各体育館も練習会場として利用されることも想定される。国の補助制度活用などによる冷暖房設備の導入について、現在の計画と今後に向けた考えを伺う。

答弁 学校の体育施設について、冷暖房設備の導入に関する国の補助制度は把握しているが、普通教室及び特別教室などの校舎の空調設備の更新を優先しており、現時点では体育館への空調設備の設置の計画はない。しかし、対策は必要であると考えており、早い段階で取組めるよう検討していく。

スポーツ施設に位置づけされている体育館について、冷暖房設備の導入に関する国の補助制度はない。また、現時点で冷暖房設備の導入計画はない。島根かみあり国スポは、安来市ではバレーボール、テニス、フェンシングの3競技の開催が決まっているが、競技会場や練習会場、必要な施設整備等を含め、今後、中央競技団体等と協議していくこととなる。

質問

暑い最中、児童や生徒たち

安来市の社会教育について



政進クラブ
福井 加代子

質問 社会教育とは学校教育課程としての教育活動を除き、主として青少年および成人に対して行われる教育活動と定義されている。その中で、二十歳の集いの企画運営等について伺う。

答弁 令和5年からこれまでの成人式を「二十歳の集い」として実施している。令和6年は1月3日に開催し、対象者の8割を超える296名の出席があった。出席者が自ら記念行事における企画、運営を担う実行委員会形式で開催。およそ半年をかけた未来への思いや人への感謝の気持ちをこめて記念行事を作り上げる。この二十歳の集いに参加し、携わった記憶が郷土愛を育み、地域活動への参加、Uターン、定住のきっかけとなることを期待する。

質問 いま、話題の「eスポーツ」の展開について伺う。

答弁 令和6年3月に策定した第

2期安来市スポーツ推進計画改訂版において「eスポーツ」の取組みを追記し、普及啓発を図ることとした。今後も、イベント開催等を通じて、eスポーツの持つメリットなどを正しく理解していただき、健全な形で発展していくよう取組みを進めていく。

認知症対策について

質問 地域で助け合う地域共生社会の実現のために、認知症の人に関する正しい理解を深める事が重要だが安来市としての取組みを伺う。

答弁 認知症への理解を深めていただくために「オレンジフェスタ」を開催している。また、令和7年3月には講演会も計画している。

質問 早期発見、早期診断、早期対応の推進の取組みを伺う。

答弁 地域包括支援センターによる「物忘れトレーニングプログラム」の実施や、総合相談から早期発見されたり、単身の方等の場合は地域の見守りや気付きが総合相談、早期発見に繋がったりしている。認知症は早期発見、早期対応で症状の悪化を遅らせることが出来ると言われている。認知症に対する正しい理解が進むよう、引き続き啓発活動を行っていく。

コロナウイルス感染症について



誠和クラブ
三島 静夫

質問 新型コロナウイルスワクチンのmRNAは、どの様にして体内に抗体をつくるのか伺う。

答弁 新型コロナウイルスは、ウイルスの表面についているスパイクタンパク質が人の細胞表面と結合し、感染を起こす。今回新型コロナウイルスワクチンで使用された、mRNAというワクチンは、ウイルスが人の細胞に入るために必要なタンパク質であるスパイクタンパク質の遺伝情報を接種し、体内にスパイクタンパク質が造られることで、それに対する抗体が出来、ウイルスに対する免疫ができる仕組みとなっている。

このスパイクタンパク質が体内に残ることで、人体に影響があるといわれているが、新型コロナウイルスについては、有効性や安全性が確認された上で薬事承認されている。今後も国からの情報を注視していきたく考えている。

質問 秋冬に向け使われる新型コロナウイルスワクチンについて伺う。

答弁 令和6年度秋冬の定期予防接種で国が現時点で使用を予定しているワクチンの種類は、mRNAワクチン、組換えタンパクワクチン、次世代mRNA（レプリコン）ワクチンである。

質問 新しいタイプの次世代mRNA（レプリコン）ワクチンについて伺う。

答弁 レプリコンワクチンは自己増殖型ワクチンとされており、従来型と比べ少量の接種量で十分な抗体が持続するといわれている。自己増殖していくことから、危惧される意見もあるが、様々な知見から、国において判断されると認識している。

これからの安来のまちづくりについて

質問 今後、市立病院をどの様にされる考えか伺う。

答弁 現在進めている安来市の医療提供体制のあり方についての検討内容を踏まえ、自治体病院としての役割を担うために必要な機能や規模さらには、病院の経営状況や市の財政状況などを含めて、総合的に判断する考えである。

酪農振興について



政進クラブ
岩崎 勉

質問 令和7年10月に北海道で開催される第16回全日本ホルスタイン共進会(以下「全ホル」といふ)に、本市からも乳用牛を出品し優秀な成績を獲得できるように、どのような支援を行っているのか伺う。

答弁 全ホル対策としては、民間の団体が主催し、乳用牛の体型、力強さ、高さ、乳房の発達具合などを競い合うシマネセントラルショウなどへの出品支援や優良受精卵購入支援を実施している。なお、来年度開催予定の全ホルに向けた、県の具体的な支援策については現時点では検討中とのこと。本市としては、県と連携しながら、必要な支援策を組立てていきたいと考えている。

質問 食料安全保障の観点から本市においてもコントラクター等を組織して、デントコーンや飼料用大豆の生産に取り組む考えはないか伺う。

答弁 市内では、濃厚飼料の代替となる稲SGSや、粗飼料としてのWCSとデントコーンの栽培が一部

で行われているが、現状ではその生産規模は市内の酪農家が必要とする量をカバーできるものではない。現在は、輸入飼料の価格高騰が続いているが、今後、情勢が変わってきた場合に、価格競争力を維持できるかどうか大きな問題となる。そのため、高額な設備投資を伴うコントラクターの設立は、こうした点を慎重に考慮したうえで検討する必要があると考えている。

質問 家畜の損害防止といった観点から乳用牛を飼育している酪農家に対して、何かしらの猛暑対策費を検討する考えはないか伺う。

答弁 国の酪農経営支援総合対策事業の中で、酪農生産基盤・飼養環境改善への支援として、猛暑対策への支援も含まれているが、本市ではこれらの補助制度は活用された実績はない。こうした制度の活用について、県とともに情報提供や申請支援に努めるとともに、その他支援策についても検討したい。

※コントラクターとは？

畜産農家から播種や収穫などの自給飼料の生産のための作業を受託する外部支援組織。

※デントコーンとは？

牛や豚、鶏などの家畜の餌として主に利用されている飼料用トウモロコシのこと。

やすぎ未来トーク開催希望者募集！

「やすぎ未来トーク」は希望するテーマを市民の皆さんに選択していただき、そのテーマを中心に自由に意見交換をする中で相互に地域の課題及び情報の共有を図り、それを議会活動全般に反映させることを目的としています。

市民の皆様からの申し込みをお待ちしております。

【申込方法】 所定の申込用紙に記載のうえ、議会事務局へ郵送、ファックス、Eメール、または直接持参による申し込み。

【申込期限】 原則、実施希望日の1ヶ月前までに議会事務局へ申し込んでください。

申 込 先	安来市議会事務局 Tel : 0854-23-3125
郵 送	〒692-8686 安来市安来町878番地2 (議会事務局宛)
ファックス	Fax : 0854-23-3153 (議会事務局宛)
Eメール	アドレス : gikai@city.yasugi.shimane.jp

※詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.city.yasugi.shimane.jp/gikai/gikainitsuite/yasugimiraitalk.html>

QRコードをスマートフォン等で読み取ると、詳細について確認できます。⇒



令和6年度 委員会視察報告

原子力発電・エネルギー関係 調査特別委員会

◆島根原子力発電所・島根原子力館
島根原子力
発電所新規制
基準適合性審
査の状況等つ
いて。能登半
島地震を踏ま
えた島根原子
力発電所の確
認結果につい
て



島根原子力発電所

◆(国研) 日本原子力研究開発機構
大洗研究所(茨城県東茨城郡大洗町)
原子力発電関連の最新技術及び安
全対策等について

◆日本原子力発電株式会社
東海第二発電所(茨城県那珂郡東海村)
東海第二発電所の再稼働に向けた
作業等の現状並びに、使用済み燃料の
乾式貯蔵施設の運用状況等について

◆匝瑳市役所・匝瑳おひさま発電所
(千葉県匝瑳市)
匝瑳市における脱炭素の取組みに

ついて。匝瑳おひさま発電所のソー
ラーシェアリングについて

文教福祉委員会(7月2～3日)

◆日本海総合病院(山形県酒田市)
今後の地域
医療のあり方
について

◆酒田市役所
(山形県酒田市)
こども家庭
センター『ぎ
ゅつと』につ
いて



日本海総合病院

地域振興委員会(7月3～5日)

◆日田市役所(大分県日田市)
森林・林業・木材産業振興ビジョ
ンについて

◆宇佐養魚株
(大分県宇佐市)
無泥どぜう養
殖法技術につ
いて

◆日本ジビエ
アカデミー
(大分県宇佐市)
鳥獣害防除・
捕獲・処理・活
用技術について



宇佐養魚株

総務企画委員会(7月17～18日)

◆京丹後市役所(京都府京丹後市)
消防整備計画について

◆芦屋市役所(兵庫県芦屋市)
公共施設の
包括管理業務
委託について。
市営旧宮塚町
住宅の活用につ
いて



芦屋市

議会運営委員会(8月6～8日)

◆蒲郡市役所(愛知県蒲郡市)
反問権について。YouTube
を用いた会議の配信について

◆新城市役所(愛知県新城市)
若者によるまちづくりの推進につ
いて

◆知立市役所(愛知県知立市)
オンライン
議会報告
会について。
高校生議会
について



新城市

スマホアプリ
「マチイロ」に
やすぎ市議会だより
配信!



YouTubeで市議会配信



編集後記

平成16年の旧安来市・広瀬町・
伯太町の合併による新生「安来
市」の発足から20年の節目を迎
えたことから、9月15日に安来
市総合文化ホール「アルテピア」
で記念式典が開催されました。

広瀬複合施設整備事業、林業
人材育成拠点整備事業、切川地
区の開発も進みつつあります。

次の節目となる10年先に向け、
議会に対して市民の皆様のご意
見やご提案を頂戴したいと考え
ておりますので、今後ともよろ
しくお願いいたします。

広報広聴委員会
委員長 岩崎 勉

